

- 1 やりすぎややりたくない教員への無理に担当を任せるなどは時代にそぐわない。
- 2 当日の運営や役員の先生方の負担を少しばかり軽減できたらと思います
- 3 生徒の負担、職員の負担
- 4 職員によって温度差がある
- 5 職員間の協力体制
- 6 学校での取り組み方法にばらつきがある
- 7 課題 ・先生方への負担
・専門性の構築
・各行事との関わりの難しさ
- 8 教員の負担が増える、もしくは一部の教員に負担が偏る場合がある。
- 9 生徒・職員の負担
- 10 教科補修や教育相談実施の難しさや職員の大きな負担
- 11 教職員の指導が厳しい面がある。
- 12 練習から当日までの負担
- 13 教員の負担が大きい。
- 14 出来る範囲で協力体制を整えているはずだが、他人事と捉える人もいる
- 15 夏休みからの練習で教員、生徒ともに疲労感がたまっていると思います。
また、各学校で練習回数が違ったりすることも課題になるかなと思います。
- 16 これまでは、全校生徒が参加して、振替休を取得していたが、コロナ感染防止対策により一時中断した、今後も、全校応援は厳しいと思うので、選手の参加、職員の引率及び役員等どのように対応し、負担を少なくするのか。
- 17 教員の負担感。
- 18 全校での取り組み体制は見直しが必要だと思うが、学校によって温度差が出てくると思うので、ある程度は地区で取り組み方針を出すことことも必要になってくるのかと思います。
- 19 職員の負担が大きい。部活動が手薄になる。
- 20 全校共に、曜日や時間を統一し負担を少しでも減らす工夫をしなければならない。
- 21 陸上選手以外の応援団の意識を高めること、学校全体で応援する場合の体制の難しさ
- 22 先生方の日々の練習監督の時間が効率化され、負担を減らすことが課題だと思う。
- 23 他の行事と日程が近いと大変。県陸上がなくなったのであれば日程を再検討して開催もありかと思います。
- 24 先生方の負担。
- 25 夏休みからの練習の仕方、内容
- 26 先生方の負担もあると思うが、運営や競技の方法、大会自体を工夫していけたらと思う。ぜひ学校対抗で交流できる場は継続してほしい。
- 27 教員の負担は大きい。だが職員全体で協力をしないといけないところなので、、、
- 28 特定の教員の負担。
- 29 これまでの勤務校では、全職員取組みで特に独身職員と体育科職員、臨任職員は負担が大きかった。マネージャー担当になると5:30出勤で16:45まで勤務というのも大変だった
- 30 全職員体制
- 31 学校によっては教員の負担が大きくなる
- 32 職員の負担が多い
- 33 全校体制を考えると、夏休みや年休をとるのが主軸で頑張っている先生に申し訳なく思う。
- 34 職員の負担
- 35 職員の負担（練習日の設定方法）

- 1 ①長期練習引率②役員派遣負担③会場送迎④駐車場
⑤生徒のモチベーション支援⑥他行事との調整(検
定・学校行事)⑦当日の生徒管理⑧トイレ
- 2 多忙感
- 3 職員の負担が大きい。
部活動に取り組みたい生徒が、地区陸上の練習があ
るため部活動に専念できなかった。
- 4 職務上の負担
- 5 実力主義のためやりたくない生徒もさせている。や
りたいけど選手になれない子もいる。ケガの心配。
未経験職員の指導負担。
- 6 生徒、教職員の過重な負担は大きい。
熱中症予防等については、各校任せであり、中体連
としての取組みが見えない。
これまで重大事案につながらなかっただけで、今後
そうとは限らない。
毎年、「暑さ」は増すばかりであり、熱中症は、生
命の危険に直結するため、他の安全管理の考えでは
厳しい。
- 7 一部のみの職員の参加。
- 8 設問1-2の回答に記載済み
- 9 生徒の負担。教師の負担。全職員体制で取り組ん
でいる時は、陸上練習終えてからの個人の仕事。残業
当たり前。
棒高は、やりたいという生徒がいても、専門はほば
いないし、あの高さを飛ばすことも怖い。責任取れ
ない。
- 10 会場や開催方法等、学校の力に還元できる取組み
にすることが難しい。
- 11 生徒の怪我、精神的な重圧、教師と生徒感の確執、
競技を進めたい生徒や保護者との摩擦、教師側の徒
労感、疲弊などが日頃の業務に悪影響を与えてい
る。これが常態化し、バランスの悪い運営がされて
いる現場が多いように思われる。
- 12 先生方の負担や授業時数等の確保、校内行事もある
ので期間中に日程が取れないなど。
- 13 職員間での取り組みが課題でした。
体育科は特に負担が大きい。
- 14 職員の負担、生徒・保護者の部活動についての考え
方の多様化
- 15 職員の負担（地区陸上が有る限り、練習に参加する
職員、練習に参加しない（できない）職員間での不
公平感・負担感・不平等感・閉塞感はなくならな
い）
以前のような体制（全部活生参加）で続けようとし
たら、子ども達からの不満をかわしたりする労力
- 16 大会に向けての学校での陸上練習が職員の負担に
なっている部分がある。一部の生徒のみの大会に
なっているため、結果的に教育効果が低くなってい
る。
- 17 練習を強制的にされている感じがある。
- 18 2つ前の質問で回答済
- 19 職員の負担
- 20 職員の取り組み方。一部の職員に負担が大きいと感
じる。
- 21 ・コロナあけ等もあり子供達の意識が低くなってい
る。
・しっかりと練習させることができない種目もあ
り、生徒が不安なまま本番を迎えさせてしまった。
- 22 練習時間の確保、指導員の確保など
- 23 ①子ども達の移動（国頭村開催のため） ②テント
等の運搬 ③学校で中継を観るときの通信障害が出
たときフリーズすること
- 24 練習期間や指導をする職員の負担。
- 25 本当は自分の部活動がしたい子どもたちが、学校全
体の取り組みとして仕方なく陸上をすることに我慢
していること。
- 26 業務量の増加による負担増
- 27 担当種目への負担。部活でも専門ではないのに、陸
上まで任されると、かなりの負担
大会運営を外部に依頼しないと継続は厳しい。
- 28 生徒は自分の好きな競技に専念する時間を奪われ
る。やりたくないのに無理やり学校の為にやらざる
おえない生徒もいる。生徒の主体的活動になってい
ない。職員の場合は、業務負担が多すぎる。特に職
員は夏休み練習をする場合、業務時間前から出勤を
しないといけない。全職員の取り組みではなく一部
の職員の負担になっている。平日においても陸上の
練習に時間を奪われて教材研究をする余裕がなく
なってしまう。教員の本来の業務は授業なので優先
順位がおかしくなっている。
- 29 教員の負担が大きい。
- 30 生徒、教職員の負担が大きい
- 31 強制的に参加させられている感じが強く生徒の不満
が多いのが気になる。
全職員で取り組むスタイルが多いのが気になる。学
習の補習や教科の研究も含め夏休みは、陸上練習を
したあとにその準備をすることが多く先生方は疲弊
している。
- 32 陸上をしたい生徒を陸上の専門指導者が指導すれば
よい。出せる範囲で選手も出場させるとよい。
- 33 夏休みから、学校によっては地区総体後から10月前
まで全職員で取り組んでいる。本来の仕事ってなん
だろうと思います。
それぞれの部活動に返すべき。
保護者からの苦情もあります。
- 34 暑さや、練習方法、夏やすみの練習時間などなど負
担感を感じている教員は多いと思う。
- 35 教職員の練習期間の負担は感じる。生徒も陸上・駅
伝の取り組みを嫌がる意思表示をする。
- 36 部活生と陸上・駅伝生に分かれてしまった時に職員
の対応や負担が大変である。
- 37 教員の負担が大きい。時間外の朝早くから練習に付
き合い他の仕事をする時間や体力ががほとんど残ら
ない。
生徒も部活に加え、陸上の練習をするので夏休みも
ほとんど休みがない。宿題すらできずますます学力
が落ちる。
- 38 教職員の働き方改革の真逆であること。積極的な
人、消極的な人と分かれる。関わらない人＝非協力
的・頑張らない人というイメージを助長する。
- 39 教職員の負担
- 40 競技数の精選が必要かと思います。
- 41 負担が大きい
- 42 数百名と役員依頼をする中で振替休日がある学校と
ない学校がするのは課題だと思う。
- 43 教職員の負担 全校体制への生徒達の不満 練習や
準備等時間を多く取る 学習に向かう姿勢ができに
くい（特に三年生の受験に向かう姿勢）職員個人個
人の取組への姿勢の差
- 44 練習、運営に多大な時間が割かれる。

- 45 ・生徒、教員共に負担感が強い。
・地区陸上の取り組みで体調を崩す生徒や教員がいる。
・学校閉庁日にも陸上練習をやっている学校があった。沖縄県の方針に背いている。
- 46 選手の立場における、陸上と他競技の両立の難しさ。
- 47 熱中症等安全管理。教職員の負担が大きい
- 48 選手に選ばれた場合、夏休みの練習が陸上とそれぞれの部活の両立が難しい（特に文科系の部活に所属している生徒）
- 49 練習期間の長さ
- 50 過重労働。
- 51 9月開催なので、夏休みから準備をすることになるが、夏休みは、熱中症の心配、研修や休暇消化の促進などにより、練習を見る職員を確保できない。朝の涼しい内に実施するとすると、朝6:30や7:00から練習を始めないといけない。学校に陸上専門の職員がいない中で、安全を確保するのも難しい。
- 52 役員の仕事を説明されたとき、全く理解できなかった。（監査係）
- 53 スパイクの準備が大変
- 54 教育効果のわりに負担が大きい。
- 55 どうしても体育科だけでの取り組みではなく、全職員の関わりが必要。
生徒との交流には繋がるが、正直、夏休みの練習は専門外としてはかなり負担感がある。
- 56 職員の負担、生徒の負担
- 57 全体で取り組むことで生徒に負担。。職員も負担になっている
- 58 学校単位で取り組むのではなく、陸上を希望するものがいれば、個人的に練習を行い、個人参加の形で大会を行えば良いのではないだろうか。
- 59 生徒について
陸上部じゃないのに参加しないといけない事
- 60 夏場からの練習など、生徒の負担が見られた。
- 61 働き方改革になっていない。人手不足の現状においてブラックな職場環境だと知れわたっている。
- 62 職員の負担率の公平さがきになる
- 63 部活動をやりたい生徒のモチベーション維持
- 64 生徒：小規模校にとっては、スポーツが苦手な生徒の居場所づくりに悩む(常に工夫をしているがとても難しい)。
職員：競技種目が多岐にわたっているので、陸上指導を担当する職員数がどうしても増えてしまう。陸上指導に費やす時間がどうしてもかかる。陸上指導をしている先生方は残業が当たり前になっているし、家庭の事情等で早く帰る先生方は心苦しそう。
- 65 夏の気温上昇による熱中症の増加(練習時)、教職員の多忙化、
- 66 全校体制での取り組みが負担。教師側の立場としては、教科の特性にもよるが、各種コンクール、検定、意見発表等、教科として取り組まなければならないことが多々ある中で、同様に地区陸の指導を求められるのは厳しい。また、小規模校の生徒は運動が苦手な生徒が多く、他行事も並行してこなす中で負担を感じるという意見が出ている。
- 67 役員を任される職員は大変だと思います。人によっては一日中、トラックにいたので、暑いし、休めないで大変だと思います。また、夏休みから取り組む学校では、朝から練習を行うので、早く出勤しないといけなかったりと、負担感是否めないと思います。
- 68 時間が無い
- 69 職員の負担が大きい
- 70 体育科以外の教員も、夏休みから大会当日まで係をさせられていて、夏季休暇の予定が組みずらかったり、大会引率の代休も無かったりすること。
- 71 前回の項目に記入
- 72 夏休みも陸上取り組みは間違っていると思う
- 73 学校応援が無くなり、一部の生徒のみの参加になったため、生徒引率と役員、学校での生徒管理や授業と人手が足りない。また、所属の部活動の練習ができず不満に思う生徒も少なくない。時期的にも夏休み前からの練習が必要となり、教員負担も大きいと感じる。
- 74 教員の負担・部活動の充実ができない・生徒との関わり
- 75 他の教育活動の充実 教職員の負担過重
- 76 取り組み期間の長さや部活動とのかかわり
- 77 専門性のない職員の負担が大きいこと。「学校全体で取り組むこと」という雰囲気があり、係を断れないこと。生徒によっては、陸上・部活・塾・他教科のコンテスト等の活動が重なり、負担であること。
- 78 部活との両立、先生方の負担の大きさ
- 79 全校あげての取り組みが教職員、生徒にとって、かなり負担感があること、
- 80 教員が負担すること。
外部指導者の活用もできたらいいが。
でも、なぜ陸上だけ？
- 81 ・教員の負担増
・部活動との兼ね合い
- 82 夏休からの取り組みがきになります。
- 83 人員配置。専門の職員や他の組織から役員は選んでほしい。
- 84 職員への負担
- 85 朝早くからの陸上練習の準備など負担が大きい
- 86 大きい学校と小さい学校で得点を競う形が、教員や生徒に負担をかけているように思う。総合得点で小さい学校が大きい学校に敵うはずはないのに、総合得点を意識した指導をしている指導者は多いように思う。そのおかげでとても伸びる子もいるが、反面運動が嫌いになったり自己肯定感を下げたりする子もいる。（小さい学校だけかもしれませんが）目標を持つのはあくまでも個人の目標で良いのではないか。学校単位ではなく個人での評価に切り替えてもよいと思う。
- 87 夏季休暇中も、地区陸上、部活動等の対応で教職員が休めていない。
- 88 子どもたちの負担。望んでいないのに選手になり、皆の期待に応え頑張ること。子どもたちが本当にやりたいことを犠牲にしている場合が多々ある。実際に陸上練習に参加せず、部活動だけ参加した生徒を指導したこともある。また、教師の負担も大きく皆でやるから出来る大会だと思う。陸上大会よりも、子どもたちが気軽に参加できる競技会や、記録会を陸上専門部主体で開催した方がいいのではと思う。

- | | |
|---|---|
| <p>89 指導、生徒輸送、既存陸上部と特別編成陸上部選手選出</p> <p>90 部活との両立。協力職員の仕事負担。</p> <p>91 ・職員の負担
・時間が大きく割かれる
・学級経営や授業改善などの本来の業務への支障
・取り残されるその他の部活動生たちの対応</p> <p>92 練習時間、指導者の確保。大会運営の人員確保。多くのことが、教員の「ボランティア」で成り立っている点。</p> <p>93 全体での取り組みでなく、陸上部としての活動が良いと思う。生徒の活躍の場は、所属している部活動でできていると思う。</p> <p>94 教職員間の連携、指導方法、小さい学校では、生徒の意欲の共通理解</p> <p>95 職員の練習をみる時間の負担が大きすぎる</p> <p>96 練習に為に時間が取られるのが課題。</p> <p>97 会場準備や、振替休日の有無が学校によって異なること。また、理事の職員への負担が大きい(幾度の出張や前日当日の勤務内容、時間等)</p> <p>98 特になし</p> <p>99 生徒も教職員も忙しい夏休みになる。ゆとりがな</p> <p>100 夏休みからの取組で熱中症の危険(生徒・職員ともに)。一定期間の休みがあるとしても生徒・職員も夏休みでの家族との時間が取りにくい感じがする。</p> | <p>110 陸上が好きでもないのにやらされていた生徒がいたこと</p> <p>111 教員の負担感</p> <p>112 夏休み全員体制で取り組むことや、2学期も練習優先でその他の活動に支障をきたしていることは大きな課題だと思います。また、やらされていると感じる生徒が多いのも課題だと思う。</p> <p>113 ・職員全員で練習をみないといけない。学校行事でもない、教育活動でもないのに、やらないといけないという雰囲気
・休日開催なのに、職員ほぼ全員出勤する。今年は朝5時に出勤でした。勤務時間も考えられていない。
・振休がない学校もある。振休をとるにしても、学校行事でもないのに、選手以外の生徒も登校させないといけない。本当に何の意味があるのかわかりません。このために授業時数がカットされる。
・地区陸のために、各学校お揃いのポロシャツを購入させるのは生徒の負担ではないですか？強制的に購入させている気がします。地区陸を行うために、見えないところでお金がけっこうかかっていること負担していることを知ってほしいと思います。</p> |
| <p>101 一部の職員への負担</p> <p>102 全職員体制での対応。陸上の専門外の指導など</p> <p>103 夏休み頃からの取り組みで、生徒への負担が大きい。
担当する職員も、放課後の指導や休日の指導に追われ、授業準備や他の校務への影響が出てきて、かなり負担感を感じる。</p> <p>104 ・学校単位では各種目を指導できる専門の職員がいない。(とりあえず安全管理程度で担当つけるが)
・毎年、だいたい同じ学校(大規模校)が優勝する。
・選手の選定の仕方
・指導から大会当日までの予算
・先生方の関わりや運営(近くに競技場ないため予約や送迎、分担など大変。記録会は必要なのか必ず競技場なのか、限られた職員数しかない場合関わる職員の体制に苦慮する等)
・体育の先生や関係役員先生方の負担(事務局等運営する側の労力) 見えないところでたくさん難儀していると思う。会場借用から会場準備、冊子づくりや役員割り振り等々…本来の自分の仕事を置いてしないといけなくなる。しなくていいものになるならもっとゆとりが出ると思う。
・所属部活動との関わり(部活時間の調整、陸上に時間とられるため前後の日程左右される)</p> <p>105 全校生徒の参加があった時には、輸送計画や生徒指導など全体的には、場所の確保や準備等が大変で</p> <p>106 学校対抗で得点を争うため、1つでも多くの種目・競技に参加させようと、生徒に負担がかかってい</p> <p>107 一部職員への負担を感じる</p> <p>108 部活との兼ね合い</p> <p>109 学校全体の行事とするなら、選手以外の生徒をどのように関わらせて自分事と感じさせるかが課題だと思います。</p> | <p>114 夏休みからの指導などの運営面での全職員体制による負担、また、休日で行われる際の代休の取り方、当日の応援参加しない生徒の授業や管理と選手引率・役員の業務など人手がない中で教師が多大な負担を払ってその日を何とかこなしている点が課題だと思う。</p> <p>115 夏休み中から取り組む事が多く、生徒の熱中症対策や、涼しい時間帯での活動を行うため、職員の勤務時間前から、練習が始まるなどの課題がある。</p> <p>116 ・反対の理由に重複します。</p> <p>117 教職員の負担
教員人員不足による各部活動の通常活動の停滞</p> |

地区陸上の取り組みを通しての課題（教職員・どちらでもよい）

- 1 おろそかになるおろそかになる
- 2 熱中症対策のため練習が早朝になり、職員の負担が大きい(勤務時間外) 夏休みに職員が休みを取りにくい 乗り気でない生徒の対応及びメンバー確保
- 3 参加したい生徒、親、教職員だけならいいが、続ける場合やりたくない人には強制参加な雰囲気、有りますよね。
- 4 指導の専門性に欠ける
指導の負担
小規模校の生徒のやらされ感
- 5 ・生徒のモチベーションを維持させるのが難しい。
学校としての目標設定や目的を持たせることが難しい。
・部活の練習と陸上練習の配分が生徒も職員も難しい。陸上練習での取り組み期間中に、部活の大会もあり、怪我をする恐れもある。部活を頑張りたい生徒にとっては、陸上練習に顧問が行っており、指導を受けられない不満もあると思う。
- 6 中3の生徒の受験勉強を考慮すると時期的な問題がある。また県大会等への派遣もなく地区で完結するので生徒のやる気、モチベーションも上がらず、させられている感が出てないか。
- 7 教職員や陸連の方たちだけで運営することが負担感を増しているのかなど。コミュニティスクールがうたわれている今、地域の運動会、例えば北体協や南体協などの陸上大会とタイアップしても面白いかもしれませんね。
- 8 部活と陸上の指導と負担の多くなる職員が出てく
- 9 それぞれの部活動の練習時間が短くなる点。夏休みからの職員の練習での負担。
- 10 夏休みの午前中2時間程度が、陸上指導で終わる。大会当日の体制（本校は選手以外は授業を行った）
- 11 特定の職員への業務負担。
- 12 地区陸上の練習に加えて部活動の指導、運動会の取り組みなどが重なり教員の負担が大きいこと。
- 13 職員の休みがない。
子どもたちが練習に前向きではない。
熱中症症状の子どもが多く、練習どころではない。
- 14 夏休み期間中の全職員体制、部活動の関連で参加意欲のない生徒を強制的に参加させていく方法が課題
- 15 部活との両立の難しさ、希望して参加しない生徒のケア、指導者の負担など
- 16 職員(学校)によっては、陸上を見るメンバーが体育科職員だけになったり、嫌がっている生徒と向き合っていないかなくてはならない。陸上の活動と通常の部活動と兼ねて時間を使わなくてはならないため、勤務時間の半分以上を活動に使用しなければならな
- 17 生徒や職員の負担、疲労感。
- 18 所属部活動と、陸上部の活動の兼部によって選手、指導者のオーバーワークがあった。
- 19 大会準備に向けた各学校での練習だけでなく、当日の運営に係る教員の負担が重たい。
- 20 一部の職員だけの取り組みにならないように、特にサポートスタッフは可能な限り役割分担やシフト等を組んでできれば良かったと感じる。
- 21 教員の負担が無いようにやるべき
- 22 学校全体の熱を注いだいわりには、地区代表となって後の県大会開催が学校の中では雰囲氣的に冷めている感があったり、九州・全国につながっていないことが課題と考える。
- 23 役員をしたのですが、昼ごはんを食べる時間がほとんどなかったです。午前と午後に分けるなど人員の確保が必要だと思いました。
- 24 一部の職員の負担が大きいです。多くの学校がそうだと思いますが、気づいた人・若い人がやるという雰囲気になっていると思います。
- 25 全生徒の当日参加（応援）が不可となっている現状では、、、
・休日開催した場合の振替休の取り方。
・教職員の役員割り当てが学校の負担。職員の振替休をどうするのか？
- 26 暑い中指導する職員、生徒の負担。全職員での取り組みではない。専門外の種目を担当してる職員がほとんどで、専門的な指導が行えない。やる気のない生徒を無理やりさせている。など
- 27 専門的な指導が難しい。
他の行事と重なっていると負担が大きい。（職員も生徒も）
部員が少なく、陸上や駅伝の練習に半分以上が行ってしまい、部活動ができない。
- 28 教員の働き方改善
- 29 もう全校応援はできないのかな…。分掌（役割）のばらつき。負担。
- 30 子供たちの自主性・本来の部活動での活動時間、教職員の意識
- 31 夏休みの教職員の負担。
- 32 生徒が少ないと、無理して参加している様子がみられる。
- 33 業務量が多くなる。土日も休みが無くなる。部活を持っている先生が、結局頑張るので夏休みも1日中部活や陸上をすることになる。
- 34 職員の負担。やりたくないが仕方無く参加している職員はどうしても出てくる
- 35 期間が長い。専門ではない種目がある。教員の負担が大きい。難儀する人だけ難儀している。
- 36 生徒管理（競技終了後や自分の競技が終わった後に予定が入っていて途中で帰る等）、登校日とする学校は、授業を行う学校とリモート配信を行う学校がある。もし可能なら、リモート配信を中体連で可能かどうか。
- 37 特にわかりません
- 38 ・地区陸上大会までの練習の取り組み
・生徒数が少ない学校の負担
- 39 大会当日の朝、各役員どうしたらよいか慌てている様子を毎年見る。
- 40 夏休みからの全職員の取り組みの負担度と補習時間の確保。

- 41
- ・学校全体として取り組まないといけないので、やりたくないひと、関心のない生徒、職員まで巻き込んでいけないと成り立たないこと
 - ・大会運営にかかる準備～片付けまで数多くの職員を必要とし、休日に準備にでなければならないこと（実際は振替休日に準備にでて来ている休みの意味がない）
 - ・学校によって総合力の差があり、大会に向けて盛り上がる学校がある一方で小規模のような学校は希望していない生徒まで巻き込まれること（運動部以外の生徒まで出場をさせないと行けないこと）
 - ・2学期の運動会や合唱コンクール、修学旅行や職場体験、地区新人に向けて忙しい時期に様々な取り組みをしないと行けない時に大人も子供も同時並行で陸上の取り組みをしないと行けないので本来やるべき部活や業務が片手間になっている職員、生徒がいること
 - ・部活動で新チームになって主力が陸上の練習で本来やりたい部活ができないこと
- 42
- ・やはり教員の負担がかなり多き大きいので、しっかりと役割分担をし、一部に負担が集中しないようにしなければならない。
 - ・毎年上位に入ってくるチームは士気が上がりいいと思うが、なかなか結果が残せない学校にとってはわざわざ長い期間かけて取り組み、大会で負け続けるのが少しかわいそうに思えるので、学校ごとに参加不参加は選ばせてもいいと思う。それよりは部活で頑張らせていいと思う。
- 43
- 学校全体で取り組むことは実質できていない

- 1 生徒や先生方の負担(時間)が大きく感じた。
- 2 先生の休みがない
- 3 運営者（学校の先生方）の負担が大きいのではないかと。
- 4 陸上の経験者に声かけして、1人1人に指導が出来たらいいと思います。
- 5 練習時に保護者や地域を巻き込んで行える環境作りが必要、役員も同様に
- 6 教師の負担は大きいと思いますが、地域の方、保護者にも理解を得て、協力してもらうのもいいかと思ひます
- 7 なし
- 8 暑さ指数などの、暑い中での練習が改善できたらと感じた。
- 9 競技を1日で行うのではなく、例えば競技毎に夏休みに予選を名護陸上競技場で行い、決勝をかいぎんスタジアムで行うほうが時間がスムーズに行くと考えます。
- 10 先生方の負担。
- 11 特に無し
- 12 部活と陸上練習の両立ができるよう配慮する
- 13 専門性のあるコーチが1人でもいて欲しい。
- 14 小さい規模の学校と大規模な学校では、選手を選んだり、指導するに違いは、あると思うけど保護者にも指導者を募集したりするといいと思う。
- 15 年一回な大きな大会ではなく、他のスポーツと同じく、大小様々な記録会、大会が有っても良いと思う
- 16 場所の確保が出来れば（駐車場含め）大きな課題はなし
- 17 参加する子供たちのサポート(保護者、学校、地域の方への参加要請やどうやって行くかの方向性を決める話合、実際の活動)
- 18 強制的にさせられていると考える子がいることも事実です。もっと、陸上を楽しむ、運動するのを楽しめるような取り組みが必要だと思ひます。
- 19 部活動との両立ができていないように感じる
- 20 PTAや地域を巻き込んで大会役員等ができないか。
- 21 協力できる人すべてにおいてやるべきでは
- 22 特に無し
- 23 課題は各中学それぞれだと思ひるので、校長、教頭などが前向きになる取り組みをすればよい
- 24 わかりません。
- 25 練習試合を行う。他校の生徒との交流を通して情報を交換しつつ、お互いを高め合っていけるから。
- 26 最近はコロナ禍でいろいろ変わってしまったので、コロナ禍前のように盛り上がるという。
- 27 課題としては足が早いからと本来の競技に支障が出るような過度な練習はないほうがいいと思ひます。
- 28 あまり存じあげないが、高校陸上の強豪校関係者などを招待し、見てもらう事で、選手達のモチベーションも変わるのではないかと思ひう。
- 29 観客の動員
- 30 学校別で取り組み方が異なっていること。
教員の負担が大きい事。
生徒、教員の負担軽減の方法。
地域との関わり方、保護者も関われるような方法はないか。
- 31 指導者の確保。
- 32 参加の強制や、肉離れ等の怪我
先生も子供たちもオーバーワークにならないような日程組みが必要だと思ひました
- 33 以前の様に 生徒みんな応援参加がいい
- 34 よくわかりません
- 35 昔みたいに、応援合戦もあった方が、子供達も楽しいと思ひてくれるのではないか
- 36 陸上が得意でも、部活がある生徒は部活を優先させる場合がある
- 37 指導する先生方の負担軽減。持続可能な取組みにしたいので、軽減方法を一緒に考えたい。
- 38 指導者ですかね。いい先生がきたら強くなるとかがあると思ひうので、先生方には負担になっているかも。地域から募集してもいいのかなど。
- 39 先生方の業務負担。
- 40 全生徒で現地での応援ができればより良いかと思ひます
- 41 先生たちがどれだけの負担をおっているのか？想像できませんが、先生たちやその家族を思うと今後地区陸上を続けていく事に対してもう手を挙げて賛成ですとは言えない。
- 42 他部活の子、先生方の負担
- 43 所属している部活への参加もさせて欲しい
- 44 熱量
- 45 特になし
- 46 教員の負担もちろんあるかと思ひますが、部活動の地域移行も含め地域の課題としても取り組まないといけないと感じます。
- 47 観覧は自由参加で良いのではないか。見学で強制参加、翌月曜日休校にする必要はない気がする。
- 48 部活との練習の偏りが出る為陸上部をもっと強化していただきたい
- 49 初めての競技に参加する子もいると思ひうのでそれぞれの競技について、どのようなフォームをしっかりと教えてあげて欲しい。
- 50 たくさんの先生の協力が必要となる。担当する先生の負担が大きい。
先生方の中にも、温度差がある。
- 51 教職員の負担が大きい
- 52 行事の精選、先生方の負担
- 53 開催時間
- 54 先生方の負担
- 55 教員の負担軽減のため、地域の人材活用が求められる。
- 56 陸上競技者の減少
- 57 競技進捗状況についてWEB配信は競技場に行けない保護者にとってはとてもありがたかったです。
- 58 夏期休業中に陸上の練習があるため、職員に負担がある。週2日程度の練習でいい、
- 59 以前のように全校生徒で応援合戦ができれば大会も盛り上がるのでは？
- 60 子どもたちに対して参加を無理強いしない事。勉強や部活動に支障を与えない事。先生に対して一部の先生だけに負担がいかないようにする事。
- 61 わからない
- 62 地域指導者や教員への丸投げ。もっと保護者を巻き込んで運営できないか。大会役員等も含め。陸上競技や、スポーツが好きな教員がいる学校は良いが、いない学校や、教員にはストレスが大きい。
- 63 暑さ、熱中症対策
- 64 陸上練習が子どもたちにとって強制にならない。先生方が休みを取れる環境を作る。集合時間の早さや終了時間を考えると代休を2日与えてもいいと思ひま

- 65 先生方の負担が大きいと思うので、外部コーチを依頼したり、保護者で当番制の見守りをした方がいい。子ども達の活躍する居場所を守る為にも先生達だけが負担せずに、みんなで見守る事で、親も意識が高まり、一緒に頑張ろうという気持ちが持てると思う。
- 66 離島や分校のような少人数学校が無理矢理出なきゃいけないとか、部活動を優先したい子が、先生からの「陸上練習に行かなければ部活に来るな」とかそういう圧力は古い。学校毎の点数をつけることがあまり意味がないのでは？マンモス校が勝率が高いのは当たり前では？
- 67 名護中学校！！
リモート中なので静かにしてくださいと注意を受けました。声だし応援も可能になっているにも関わらず。リモートなら自分達のテントでビデオ撮影したらどうですか？あまりにも自分勝手です！！
こちらはしっかり観客席におり、撮影の邪魔かもしれないと傘をさすのを控えたにもかかわらず。
ありえん！！
- 68 わからない
- 69 特になし
- 70 先生ばかりに負担をかけすぎず、保護者等の協力も必要だと思います。学校によって協力するしないがあると思います。
- 71 陸上競技不参加者の対応。学校全体で参加すべきか否か
- 72 今後の開催意義とその共有。
今後、中南部で開催されず、県大会の開催もなくなる為、北部のみで開催となれば、独自の開催意義を持ち、地域で共有しなければ、先生方の負担が大きいことも課題となる中、開催継続が難しくなると思
- 73 部の顧問をしている先生方が、部活動も陸上も抱えていらして、ほぼお休みがないように見受けられる。先生方が倒れてしまわないか心配です。学校休業日などが設けられていますが、家族の時間やご自身の休息など、外から見えてもそれだけでは足りないと感じます。

地区陸上の取り組みを通しての課題（保護者・継続反対）

- 1 先生の負担が多い。
- 2 選手達には意義があるが、その他の生徒にあるかは不平等感を感じる。
- 3 課題 忙しい中学生にとっては大変。中には部活をしていない生徒も練習させられているので理不尽かと思う。
- 4 負担感
個々の部活への影響
- 5 参加する子だけが一生懸命で、参加しない子は何もできない、という差が生じる。
- 6 この時代に強制参加はおかしい 納得できずイヤイヤ参加している方々が多いように思う
参加したい方々で、楽しく会を盛り上げたら良いと思う
- 7 陸上大会へ出場したければ陸上部を作る
- 8 生徒の自主性を大事にしているのはとてもいいが、素質ある人、部活している人(運動部)は参加させてほしい。
- 9 生徒数が少なく、強制参加になっていることが反対理由で述べたこと全てに直結し、課題である。
- 10 練習をすることがとても労力がかかる
- 11 やめれば良い
- 12 一部の参加者に時間をさくのが無駄。
- 13 陸上部の大会でいいのではないかと思います、学校全員参加でなくても。
- 14 選抜メンバーだけが楽しめる大会に感じる
- 15 子どもがやりたい部活に集中させてあげたいです。
能力が高い子はやりたくない状況でも部活より優先に参加させられます。
成長に繋がる意味はあるのでしょうか？
- 16 参加に関して強制的な感じがする。
希望者でやる分にはいいと思う。
その中でも所属部活の日程などを優先してくれるならいいかなとは思う。
- 17 応援無しでは盛り上がり欠ける
- 18 離島から行く為の前日入りなどの日程調整。
保護者、引率の先生達のチームワーク
生徒達への意思を確認して欲しい。
挑戦したい競技などあれば参加するなど。
- 19 とにかく時間に追われる
- 20 望まない子の参加
- 21 先生達が練習することで、他の活動などができなくなる
- 22 選手以外の子への対応
- 23 リモートで応援をする必要があるのか？
- 24 参加について子どもの意向が全く反映されていない。断りにくい雰囲気がある。断った後に担当の体育教師に何かされるのではないかと思います怖いので正直に出たくないと言えない。急に厳しい練習が始まるので、疲労骨折などになった子もよくいる。子どもたちへの精神面や身体面への配慮が全くできていない。
- 25 指導する先生のやり方に左右され、やる気も削がれる。雨の中、走らせられ風邪をひいて体調を崩して本番に出れず怒られる。何を学べるのでしょうか？させて側の問題があり過ぎます。
- 26 部活と陸上両方を強制することは問題だと思う。
部活の時間が平日2時間、休日3時間の決まりがあるのに、両方を強制されるのはなぜか。
- 27 陸上練習、いつもの部活。子供達の身体のケア。怪我が多すぎる。
- 28 部活時間と一緒にしてほしくない
- 29 練習時間や勉強との両立などがあるが、団結力や意志の強さなどプラスになる面も大きい。
- 30 一部の生徒・職員のしか関われない 観客として行く生徒は、関心がないのに行かなければならないので負担に感じている
- 31 応援や練習も含め、学校によって取り組みの差が大きい。
- 32 かなりいい成績をおさめたようで、生徒それぞれ得たものはあるんじゃないでしょうか。
- 33 参加したくない者まで、選手選考のため練習に駆り出される。本人はやりたくないのに。これは課題というより、昔ながらの強制。体育会系の悪い名残がある。問題。
- 34 県に照準を合わせて地区陸上を廃止して欲しい。
- 35 部活や、合唱コンクール、地区陸上というあまりにも過酷すぎるスケジュールをこなさないといけない先生と生徒にとってもハードである。
- 36 夏休みが陸上練習で強制され、本来の部活や自由な時間が奪われている。
- 37 特になし
- 38 そもそも、何の為にしているのか謎
- 39 全国大会へ繋がる大会となって欲しい
- 41 関心がないため、特にありません

地区陸上の取り組みを通しての課題（保護者・どちらでもよい）

- 1 朝早いとか、運動部全員とか強制をやめたらどうですか？子供達の意見も必要
- 2 参加を強要するような風潮が良くない
- 3 陸上部がある学校が参加する等、得意な人や好きな人が参加するなら良いと思う。
- 4 先生達の負担はありませんか？
- 5 特になし
- 6 特にない
- 7 陸上終わっての部活は大変そう。
- 8 陸上が苦手な子どもにとっては、きつい練習を長い期間強いられてるというような気持ちになっているように思う。希望者だけの参加は可能なのか知りた
- 9 わからない
- 10 練習・大会開催の時期。
どうしても夏休みから練習することになるため、熱中症が心配。
特に長距離の選手は熱中症対策で朝早くからの練習だったため、先生方の負担が気になった。
- 11 教職員の負担が大きいつと感じることと、生徒自身も部活を掛け持ちしながらの負担があること。
- 12 特になし
- 13 陸上部以外の部活生への強制参加をなくし、無理のない範囲での練習を実施すべき。
- 14 陸上競技場への送迎と昼食の心配が特にありまし
- 15 陸上部の人数が少ないので、地区陸の時期は他の部活動から引き抜いて陸上練習をするのですが、本来の部活を休んでまで陸上練習をするのは保護者としてはイヤです。
- 16 生徒と、先生の距離感
- 17 練習時間
- 18 熱中症の危険
- 19 運動部ではない生徒を出場させるのはどうかと思います。
- 20 陸上に意欲ある子、才能ある子をどうのばしていくか、体力向上など
- 21 陸上競技はそもそも個人競技だと思っている。リレーもあるがあくまでその競技単独だと思っている。課題かどうかはわからないけど。
- 22 ない
- 23 先生方の負担軽減
- 24 特になし
- 25 男女別、学校単位でも子供の数が減っているため、成り立たない競技がある
- 26 学校側も働き方改革などで教師への負担を考慮してなのか、積極性が見られません。やる子はやるし、やらない子は放っておく。もっと熱心に学校をあげて頑張るなら意義はあると思いますが、この中途半端なやり方ならやらなくてもいいかと思いました。ただ、北部地区は「陸上部」がないため、陸上をやりたいと思っている子の活躍の場はどこかにあるといいなと思います。
- 27 陸上部以外の部活動から競技に参加しないといけな
いのは、あまり良くないと思います。
陸上部が参加するのが本来のかたちだと思います。
陸上、駅伝への取り組みが始まると、部活はほぼ活動停止状態。
少人数校だと、この期間中はゆるゆるの期間になっているように感じます。
- 28 陸上練習期間、他部の借り出し部員は専門部の練習に参加できないし、逆に専門部の練習が進まないで、この機関に辞めるひともいるときいている。
- 29 部活に入ってる生徒は陸上の期間だけ、自分の部活に参加できないこと
- 30 部活動への影響
- 31 生徒数が多い学校が圧倒的に有利なので、公平性に欠ける。
- 32 生徒数の多い学校の有利になると思う。
- 33 練習時間、そして先生方の負担
- 34 各学校部活動での取組
- 35 平日にしてほしい